

ハイフィールド通信10月号

好印象の与え方

メラビアンの法則



今月からいよいよ大学の推薦入試、及び総合型選抜試験が始まります。それらの入試で面接を課せられる人にも、そうでない人にとっても、これから絶対に役に立つのが今回紹介する「メラビアンの法則」です。

この法則は、人と人とのコミュニケーションにおいて、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%の割合で相手に影響を与えるとこの内容の法則です。左の図を見ると、何を優先すれば相手に好印象が分かりますね？何も顔面偏差値や、声優のような声を持っていればいいわけではありません。髪を整え、服装をきれいにし、自身に満ちた表情で、ハキハキと喋ることができれば、相手に与える印象の訳9割を制したと言っても過言ではないということです。第一印象が良いに越したことはないはずですので、皆さんも早速実践してみてください！！

遠方から便り

先日、古くからの友人であるY君から電話がありました。中学校時代は成績を競い合い、部活（サッカー）ではポジションを奪い合い、休みの日は朝から晩まで遊んでいた、いわゆる親友ってやつです。しかし、社会人になってからは連絡も徐々に減り、ここ数年はどこで何をしているのかも分からないような状態でした。

そんな彼から突然の電話があり、何とオーストラリアに住んでいるとのことで、驚きで思わず夜中に大きな声を出してしまいました(笑)昔から海外で暮らすのが夢だと語っていたY君。オーストラリアは給料が高いので、日本でお金を貯めて、オーストラリアに住む計画を20代前半で立てており、それを実現させたいのです。現在は1日に6時間ほど、フルーツや野菜を栽培している大きな農園を手伝っているそうで、貯金もかなり貯まったと自慢していました。

さて、今回この話をしたのは、夢を実現することの素晴らしさを伝えたかったからです。電話越しですので顔は見えませんが、おそらく非常に良い表情をしていたはずですよ。夢に向かって目標を設定し、それに向けて行動を続け、成し遂げたY君を私は友人として誇りに思います。「夢の実現」は数ある喜びの中でも、最上級のものであることは間違いないでしょう。皆さんもこれになら人生を捧げてもいいと思えるものに出会い、それに向けて努力する素晴らしさを、この先の人生で体験して欲しいと思っています。

佐藤